

# KÄRCHER

## 取扱説明書 KM120/250 RD Classic 1.186-004.0



# もくじ

---

お問い合わせ・修理	2
車両をパレットから降ろす	3
緊急移動（エンジンが動かない）	4
コンテナ安全バー	5
ジャッキアップ	6～7
コーションラベル	8
使用上の注意	9～16
燃料の基準	17
メンテナンス スケジュール	18
トラブル対応	19～20
補修部品	21
仕様	22～23
各部名称	24～25
エンジンルーム	26
作動油の管理	27
ダストフィルター	28
コンテナ操作	29
走行手順	30
清掃方法	31～32
ヒューズ	33
ヘッドライト	34
ウインカー	35
エンジン エアクリナー	36
エンジン オイル・フィルター	37
燃料フィルター・セパレーター	38
冷却水・発電機・ブレーキオイル	39
前輪・後輪	40
サイドブラシ 調整・交換	41
メインブラシ 調整・交換	42～43
メインブラシ リップ交換	44
作動油の交換	45
ユーザー登録・保証	46
保証書	47～48

## お問い合わせ・修理

---

### <サービスフロント>

製品の故障、修理についてのお問い合わせはケルヒャー サービスフロントへご連絡ください。

受付時間：月～金 AM9：00～PM5：00

（祝祭日、当社休日を除く）

TEL : 0570-78-3140

FAX : 045-438-1320

### ● 出張修理費用

出張修理は下記の費用が発生します。 <料金については別途お問い合わせください。>

- ① 作業工賃（※ 待機時間も含まれます。）
- ② 出張基本料金
- ③ 拠点からの移動費（※ 高速・燃油費用も含まれます。）
- ④ 部品代
- ⑤ 現場から車両保管場所もしくは修理実施工場までの搬送費

### 出張見積もり

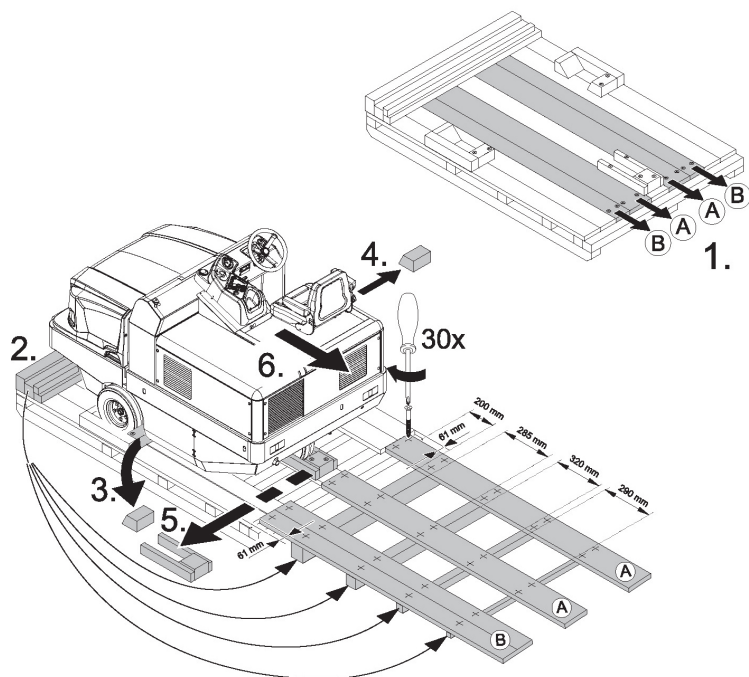
出張修理に準じます。

機械を分解し不良特定を行うため車両運用は修理完了まで使用頂けません。

引き揚げの場合は実費をご請求いたします。

夜間・深夜作業は追加料金が生じます。

## 車両をパレットから降ろす



### 用意する工具

- 木ネジ（40 mm以上） 30 本
- ドライバー もしくはインパクトレンチ（木ネジ用ビット）

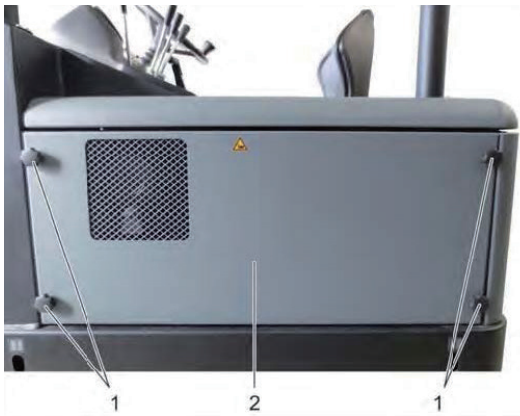
- 1 パレットからスクリューを抜き、AとBの板を取外してください。
- 2 車両前方の部材を取外してください。
- 3 左前輪 車止めを取外してください。
- 4 右前輪 車止めを取外してください。
- 5 後部走行輪 車止めを取外してください。
- 6 取外した部材を図の寸法で固定（30 か所）してください。

車両のパレットはお客さまご負担で処理をお願いいたします。

### 注意

固定が不十分な場合、車両の移動中に踏み板が損傷し脱落する場合があります。  
フォークリフトを機械下部にかけ降ろさないでください。損傷します。  
車体重量は851kgです。

## 緊急移動（エンジンが動かない）



固定スクリュー4本を取外してください。  
サイドカバーを取外してください。

- 1 固定スクリュー
- 2 サイドカバー 左



<油圧解除レバー>

パーキングブレーキをかけてください。  
ボンネットを開けてください。  
固定スクリューを取外し油圧解除レバーを取り出して  
ください。

- 1 固定スクリュー
- 2 油圧解除レバー



- ① 油圧解除レバーを油圧解除ナットに掛けてください。
- ② 油圧解除ボルトを1回転回してください。
- ③ 1名が搭乗し操舵・制動操作を行ってください。
- ④ 安全を確認し数名でゆっくり押してください。
- ⑤ 移動後 油圧解除ボルトを締めてください。

- 1 油圧ポンプ
- 2 油圧解除レバー
- 3 油圧解除ボルト

<注意>

平坦な場所のみで行ってください。  
移動速度は、4Km/h以下で行ってください。



- 1
- 2
- 3



## コンテナ安全バー

---



＜安全バー＞

コンテナを上げた状態でメンテナンスを行う場合は必ず安全バーを使用してください。

1 安全バー



1 ホルダー  
2 安全バー

1 コンテナを最上位まで持ち上げてください。  
2 エンジンを停止してください。  
3 安全バーをホルダーに挿入してください。

# ジャッキアップ



- 1 ジャッキアップポイント
- 2 前輪
- 3 ウマ（耐荷重 2 t）
- 4 後輪



ジャッキアップする場合は水平な安定した路面で行ってください。  
1ホイールごと作業を行ってください。  
車止めを装着してください。  
駐車ブレーキを併用してください。  
適切なジャッキを用いてください。(1.5 t 以上)  
後輪をジャッキアップする場合はウマを併用してください。



ジャッキアップを行う場合は周りの安全を確認してください。  
ジャッキ用特殊工具を別途ご購入ください。

挿入口へ特殊工具の爪を挿入してください。

- 1 特殊工具 5.062-369.0



エンジンを停止します。  
タイヤにクルマ止めを行ってください。  
パーキングブレーキをかけてください。  
特殊工具を取付けてください。  
油圧ジャッキをかけ持ち上げてください。

<必要以上に持ち上げないこと>

- 1 特殊工具 5.062-369.0
- 2 油圧ジャッキ 1.5 t 以上

# コーションラベル

	火傷の危険が有ります。 表面が熱くなっているため、やけどをする危険があります。 作業を開始する前に加熱部分を冷却してください。
	作業中は常に適切な手袋を着用してください。
	車の部品間に挟まれる危険が有ります。
	怪我の危険があります。 可動部位に手を入れないでください。
	火災の危険があります。 燃えたり輝いたりするものを回収しないでください。
	固定位置
	ジャッキアップ位置
	転覆の危険が有ります。 コンテナを上げた状態で移動しないでください。
	勾配 18%以上は走行しないでください。
	ダストフィルターは完全に乾燥させてください。 濡れた状態では粉塵が噴き出します。

## 環境保護

梱包材はリサイクルすることができます。

### 運用で回収したごみ

環境規制に従い廃棄してください。

電気・電子機器には貴重な、リサイクル可能な材料が含まれており、取扱いや廃棄が不適切な場合、健康や環境に脅威を与える可能性があります。  
回収したゴミに右のマークの付いている場合は家庭ごみと一緒に廃棄出来る場合があります、管轄の地方自治体に確認してください。



### 産業廃棄物

地方自治体の規制を遵守してください。

産業廃棄物は家庭ごみとして処理できません。

有効な安全データシートに従い梱包資材を廃棄してください。



### 車両の廃棄処分

車両には、貴重なリサイクル資材が含まれています。

車両の処分に関しては廃棄物管理会社と協力することをお勧めいたします。

### 絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



#### 警告

この表示を無視し誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



#### 注意

この表示を無視し誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容」を示しています。



この記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



この記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



### 使用時の警告



子供には触らせないこと  
重大事故が生じる場合があります非常に危険です。

操作未熟者は作業を行わないこと  
身体的、感覚的または精神的能力が制限されている人、経験が不足している、または知識が不足している方々の清掃用として設計されていません。

操作訓練を受講していない作業者は運転しないこと

飲酒時には絶対に運転しないこと

妊娠中の人は搭乗しないこと

車両の周りの安全が確保できない場合は運転を行わないこと

危険物や火気のある場所で使用しないこと  
火災の原因となります。

防爆エリアには立ち入らないこと  
火災の原因となります。

動作に不具合が有る場合は使用しないこと  
不具合に伴う弊害が発生し損害を生じる原因となります。

18%以上の坂道走行は禁止

改造禁止

火災、感電、けがの原因になります。  
ケルヒャー純正部品以外の機械の性能や機能に適さない部品を使用しない。  
機能を十分に発揮せず思わぬ事故のもとになることがあります。





## 使用時の警告



### 安全装置を取外さないこと

お客様の安全を確保するための装置です。  
安全装置を変更したりバイパスしたりしないでください。

### 中毒の危険性

排気ガスを吸入しないでください。  
排気ガスの開口部を塞がないでください。  
排気ガスの開口部を絶対に曲げないでください。  
排気口の内部に異物を詰めないでください。

### 回転部に手を入れないこと

巻込まれる場合があります。

### コンテナ上昇時は格納部位に入らないこと

重大事故が生じる場合があります危険です。

### コンテナ上昇時は走行しないこと

転倒する危険性があります。

### ぬれた手で電源プラグを触らないこと

感電する場合があります。

### 本体、電源プラグに高圧水をかけないこと

漏電が生じる場合があります。

### シートに重量物を置かないこと

誤動作を生じる場合があります。

### 充電中は火気厳禁

充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆発を生じる恐れがあります。

### バッテリーを短絡させないこと

短絡させた場合、爆発する危険性があります。

### バッテリー極板をバッテリー液から露出させないこと

バッテリーの充電作業前にバッテリー液の補充を行ってください。  
バッテリーの極板がバッテリー液から露出した場合、バッテリーの寿命が著しく低下したり損傷・爆発を生じます。

### バッテリーに水をかけないこと

引火爆発の原因となります。

### バッテリーを乾いた布で拭わないこと

引火爆発の原因となります。

### エンジン燃料に軽油以外は使用禁止

軽油以外を使用した場合、エンジンが損傷します。

### 燃料補給時はエンジン停止すること

引火爆発の原因となります。

### 急激なハンドル操作を行わないこと

横転の危険があります。

### 急激なアクセルペダルの操作をしないこと

アクセルペダルはゆっくり踏み込んでください。





## 使用時の警告



燃料をこぼさないこと  
引火の危険があります。  
周囲に燃料がこぼれた場合は速やかに処理を行ってください。

燃焼（くすぶっている）しているゴミは回収しないこと  
車両火災が発生する可能性があります。

スプレー缶等のゴミは回収しないこと  
車両火災が発生する可能性があります。

殺虫剤・農薬・肥料の回収には使用しないこと  
車両が腐食する可能性があります。

高アルカリ性・酸性の溶液に反応する金属粉塵は回収しないこと  
（アルミニウム、マグネシウム、亜鉛など）  
爆発性のガスを生成し危険を伴います。

水と反応する粉じんは回収しないこと  
火災が発生する危険を伴います。

ガソリン・有機溶剤・灯油・重油が付着したごみを回収しないこと  
火災が発生する危険を伴います。

倉庫や車庫など閉めきった屋内でエンジンを始動しないこと  
排出ガスに伴う中毒を起こします。

運転席以外に人を乗せないこと



## 使用時の警告



- ボルトやナットの緩みが無いか定期的に点検を行うこと
- バッテリー・配線・排気口周辺に可燃物・燃料の付着がないことを確認すること
- 作業前に操舵に異常がないか確認すること  
異常がある場合は運用を中止してください。
- 操舵特性に注意すること  
滑りやすい路面（雪上、氷上、濡れた / ゆるい地面）、斜面で旋回操作を行う場合、急激はハンドル操作は行わないでください。
- 重心変動に注意すること  
使用位置するアタッチメントにより重心位置が変動します。  
交換後走行テストを行い特性を掌握してください。
- 上り坂 / 下り坂の斜面を横切る操舵は注意すること  
転倒の危険性が有ります。（10%以上の路面を横切るとは危険）
- 充電作業時はスイッチを切ること  
スイッチが起動状態で充電を行うと制御系統が壊れます。
- 充電作業は換気の良い場所で行うこと  
充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆発を生じる恐れがあります。
- バッテリーの形状に注意すること  
バッテリーの寿命が近づいてくるとバッテリーケースが変形します。
- 汚染された可能性のある場所を洗浄する場合は適切な防護具を身に着けること  
汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。
- 均一で適切な速度で旋回すること  
転倒の危険性が有ります。
- 寒冷時は暖機運転を必ず行うこと  
その際は駐車ブレーキを必ずかけてください。
- 道路の端に寄りすぎないこと  
路肩が崩れる恐れが有る場所は走行しないでください。  
草等が茂った路肩を清掃する場合は必ず降車し目視点検を行ってください。
- 輸送時の安全を確保すること  
バッテリー端子を取外してください。  
積載時の地上高に注意してください。  
積載時は車両を6点支持固定してください。  
前方側面2か所・後方側面2か所・後部2か所  
冬季間の積載時は積載面の融雪を取り除いてください。  
積載可能重量を確認してください。  
車間距離を十分にとってください。  
積載車のエンジンブレーキ・排気ブレーキを併用してください。
- 駐車は平坦な安定した場所に止めること  
必ず駐車ブレーキを併用する。
- 格納時はバッテリー接続線を外しキースイッチを保管すること



## 作業に関する注意



音楽用イヤホン等を使用しないこと

始動時はアクセルペダルを踏まないこと  
油圧系統が損傷します。

不整地路面を走行する場合は注意すること  
不意に傾き点灯の危険が高まります。

運転者以外の複数の人員を搭乗させないこと

作業車両で物を押したり・引いたりしないこと

斜面に対し直行しないこと  
転倒の危険が高まります。

操作パネルに水をかけないこと  
スイッチが損傷する原因となります。

起動中はエンジンを水洗いしないこと  
エンジン故障の恐れがあります。

タイヤ、ラジエーターフィン、油圧ホースおよびバルブ、シール、電気および電子部品に対し高圧洗浄機で清掃しないこと

バッテリー極板をバッテリー液から露出させないこと  
バッテリーの充電作業前にバッテリー液の補充を行ってください。  
バッテリーの極板がバッテリー液から露出した場合、バッテリーの寿命が著しく低下したり損傷・爆発を生じます。

不適切な燃料（劣化）は使用しないこと  
燃料システムの腐食や異常磨耗・低温時での燃料フィルタの目詰まり・エンジン始動性の低下・エンジン出力の低下を招きます。  
継続使用した場合、エンジンを損傷します。

汚水の回収は行わないこと  
液体の回収には機械構造的に適していません。

牽引作業を行わないこと  
牽引を行う強度を要していません。

走行・作業において危険が伴う場所では使用しないこと

公道走行には適しません  
公道走行におけるリスクは全て使用者が負います。

標高 1,200 m 以上では使用しないこと  
エンジンに異常が生じます。

70 mm 以上の段差を超えないこと  
必ず 1 輪ずつ段差をこえてるか傾斜路をもうけてください。  
走行系統・ブラシュユニットを損傷します。

屋外に保管しないこと  
作動油圧系統の損傷を招きます。



## 作業に関する注意



- 作業者が作業に適した衣類を着用すること  
サイズが合わない作業着は巻込みの危険性が高まります。
- ヘルメットを着用すること
- 滑り止めのついた靴（安全靴を推奨）を着用すること
- 取扱説明書に記載された手順に従うこと  
重大な障害を生じる場合があります。
- 取扱説明書は、取出し易い場所に保管すること
- 熟練訓練を行うこと  
転舵装置が一般車両と異なります。  
回転半径が小さく人・動物・物を挟み込まないよう注意してください。
- 法規を遵守し運転を行うこと  
安全規則、労働衛生規則、道路交通規則を遵守してください。
- 長時間作業を行う場合は定期的な休息をとること
- 車両の周りの安全確認を行うこと  
車両付近に他の人や、動物、障害物がないかを確認してください。
- 後退する場合は、走行ペダルを慎重に踏み込むこと  
アクセルペダルを一気に踏み込むと挙動が安定せず事故を誘因します。
- 操舵特性に注意すること  
滑りやすい路面（雪上、氷上、濡れた、ぬかるむ路面）斜面で旋回操作を行う場合、急激はハンドル操作は行わないでください。
- 暖機運転を行うこと  
作動油圧システムの損傷を招きます。
- エンジン起動中は作業車両から離れないこと
- スターターモーターを 10 秒以上動かさないこと  
エンジンが起動しない場合は 10 秒待ち再度起動操作を行ってください。
- 燃料を切らさないこと  
燃料ポンプに空気を吸い込み起動できなくなります。
- 上り坂 / 下り坂の斜面を横切る操舵は注意すること  
転倒の危険性が有ります。
- 斜面を走行する場合は注意すること  
転倒の危険が伴います。
- 傾斜地は低速で移動すること  
ブレーキの利きが低下する場合があります。
- 高速走行時のハンドル操作に注意すること  
転回する場合は速度を落としてください。



## 作業に関する注意



制動はブレーキを必ず使用すること

アクセルペダルを離すと制動減速へ移行します。  
これは、一般車両（エンジンブレーキ）とは異なります。  
停止・減速時の際はブレーキ操作を必ず行ってください。

ブレーキ操作に注意すること

走行時と作業時のブレーキ特性は異なり利きが低下する場合があります。

後退する場合は後方を確認すること

人・物がないことを確認した後後退してください。

停止したまま同じ場所を清掃しないこと

路面が損傷する場合があります。

使用しない場合は起動キーを取外すこと

安全な場所に保管してください。

冬季は軽油の種別を3号もしくは特3号を使用すること

運用地域の気温に適した軽油を使用してください。

暖かい地域から寒冷地域へ車両を輸送する場合

タンク内の軽油を1/4以下に減らしたのち、寒冷地域で速やかに給油を行い  
5分間エンジンを作動させてください。  
(燃料ラインでの軽油凍結を防止します)

ひも状のゴミは事前に取り除くこと

ブラシに巻きつきブラシを痛めます。

車両の安全・安定性を確認しゴミを捨てること

スリーパー作業終了後ダストコンテナのゴミを廃棄すること

使用しない場合は起動キーを取外すこと

安全な場所に保管してください。

充電作業時はスイッチを切ること

スイッチが起動状態で充電を行うと制御系統が壊れます。

バッテリーの形状に注意すること

バッテリーの寿命が近づいてくるとバッテリーケースが変形します。

充電作業は換気の良い場所で行うこと

充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆発を生じる恐れがあります。

作業車両に落下物に当たる危険性が有る場合

オーバーヘッドガードを取付けること

<注意> オーバーヘッドガードは転覆保護装置ではありません。

オーバーヘッドガードが変形・損傷した場合は直ちに交換を行ってください。



## 作業に関する注意



### 純正部品を使用すること

純正部品以外を使用された場合、性能が維持できない場合が生じます。  
純正以外の部品を装着し損傷した場合、一切の保証はなされません。

### 始業前点検を行うこと

車両運送法により規定されています。

### 自社メンテナンスを行う場合は選任者を指定すること

トレーニングを受講した選任者による整備を行ってください。

### メンテナンスの際は停止状態で行うこと

### メンテナンスの際は防塵マスクを装着すること

ダストフィルターの交換・ブラシの交換は防塵対策を行い作業を行ってください。

### エンジンオイルは定期的に交換すること

初回 50 時間 事後 250 時間毎に交換してください。

### エンジンエアフィルターは定期的に交換すること

1 初回 50 時間 事後 250 時間毎に交換してください。

### 作動油は定期的に交換すること

500 作業時間毎に交換してください。

### 1 か月以上使用しない場合は車両をジャッキアップすること

タイヤの変形を抑制します。

### 1 か月以上使用しない場合は車両からバッテリーを取外すこと

バッテリーは使用しない状態で保管した場合、約 3 ヶ月で完全放電します。  
再度使用する前にバッテリーの充電を行ってください。

### バッテリー接続ケーブルは確実に取り付けること

ゆるみが生じている場合、バッテリーを損傷します。

### バッテリー液の補充を行うこと

バッテリー液が少ない状態で使用した場合バッテリーが爆発する場合があります。  
作業前に必ずバッテリー液の確認を行ってください。

### 凍結する環境下で使用する場合はクーラント濃度を確認すること

凍結によりエンジンが損傷します。

### 定期点検契約を行いましょう。

統計的に定期点検を行事により運用効果が高まります。

故障発生後の費用は定期点検により事前対応提案の約 3 倍の修理費用が  
かかり、修復までの車両休眠時間は約 8 倍の時間を要します。

定期点検をご契約いただく事により

修理費用の抑制、無可動時間を抑制し、車両寿命が伸び、運用効率が格段に  
向上します。

燃料ホース・ゴムホース類は時間経過に伴い劣化します。

2 年毎の交換を推奨します。





## 燃料の基準

燃料を切らさないこと

燃料ポンプに空気を吸い込み起動できなくなります。

気温に適した軽油を使用すること

燃料のセダン値は 45 以上

ディーゼル燃料に、オイル、使用済みエンジンオイル、余った燃料を混ぜないこと

燃料内の水、沈殿物は、全体の堆積の 0.05% 未満であること

燃料タンク、燃料を取り扱う補器類の周りは常に清掃すること

品質の悪い燃料は私用しないこと

エンジン性能の低下・エンジン損傷の原因

燃料添加剤の使用禁止

エンジン性能の低下・エンジン損傷の原因

灰分は、全体の体積の 0.01% 未満であること

残留炭素分は、全体の体積の 0.35% 未満（推奨値：0.01%）であること

芳香族分は、全体の体積の 35% 未満（推奨値：30%）であること

PAH（多環芳香族炭化水素）は、全体の体積の 10% 未満であること

勤続含有量は 1mass ppm 以下であること（JIS-5S-44-95 試験分析法）

ナトリウム・マグネシウム・ケイ素・アルミニウム

潤滑性 -HFRR 試験 WS1-4 の磨耗傷が最大 460  $\mu\text{m}$  までとする

バイオディーゼル

【摘発油等の品質の確保に関する法律】で定める軽油規格を満足する B5 以下のバイオディーゼル燃料であること

バイオディーゼル燃料の購入は必ず正規のディーゼル燃油販売店で購入すること

## メンテナンス スケジュール

メンテナンス項目	使用 毎回	50 作業時間毎	100 作業時間毎	200 作業時間毎	500 作業時間毎	毎年	2年毎
外観	●						
灯火器の状態	●						
スイッチの動作	●						
バッテリー液の量・補充	●						
ハンドルのガタツキ	●						
ホイールボルトの締付	●						
タイヤの溝	●						
シートスイッチの状態	●						
操舵系 グリスアップ		●					
ブレーキの利き具合	●						
作動油の量・補充	●						
作動油（短いスパン）					交換		交換
作動油フィルター（短いスパン）					交換		交換
油圧ホース（損傷・油漏れ等）	●						
ダストコンテナの昇降状態	●						
ダストフィルターの交換	●						
自動チリ落とし作動状態	●						
ブラシの摩耗	●	調整					
ブラシの昇降	●						
メインブラシ周りのリップ		調整					
エンジン ファンベルト		点検		交換			
エンジン エアフィルター		点検			交換		
エンジンオイル		初回交換		交換		交換	
エンジンオイル フィルター		初回交換		交換		交換	
燃料フィルター			点検				
燃料ウォーターセパレーター			点検	交換		交換	
エンジinkerラント						交換	
エンジンマウント			点検	点検			交換

### <ユーザーメンテナンスの実施間隔>

操作を開始する前に毎日、起動前に実施してください。

定期的な安全性チェックを弊社へご依頼ください（定期点検の契約を推奨いたします）

ユーザーが実施する検査および保守作業の間隔は表に従い行ってください。

点検票の記載を推奨いたします。

### <注意>

日常メンテナンスはお客様の責任で必ず行ってください。

日常メンテナンスが行われていない場合、保障が受けられない場合があります。

不具合が生じている場合は使用を中止し有償修理をご依頼ください。

メンテナンス時は車止めを併用してください。

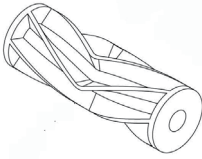

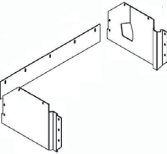
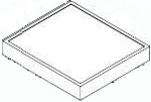
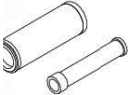

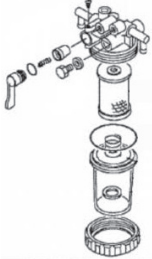
## トラブル対応

症状	原因	対策
エンジンが起動しない	シートスイッチが作動	シートに座る
	ブレーキを踏んでいない	ブレーキを踏む
	バッテリー電圧低下	充電・もしくは交換
	燃料タンクが空	給油後エア抜きを行なう
	燃料フィルターの詰まり	燃料フィルターの交換
	燃料ラインの詰まり	燃料ラインを確認・修理依頼
	ウォーターセパレーターに水混入	排水する
	異種燃料を給油（ガソリン等）	修理を依頼
	エンジンオイルが劣化	エンジンオイル交換 エンジンオイルフィルター交換
エンジンが不規則	エアフィルター詰まり	エアフィルター交換
	燃料系統の不具合	燃料ラインを確認・修理依頼
エンジンオーバーヒート	冷却水不足	冷却水の保水
	ラジエターの詰まり	ラジエター洗浄
	Vベルトのゆるみ	Vベルト調整
スターターが回らない	バッテリー電圧低下	充電・もしくは交換
	キースイッチ不良	キースイッチ交換
	接続線の断線	接続ケーブルの確認
	スターターソレノイド作動不良	スターターを交換
	スターターピニオンギア損傷	スターターを交換
スターターがゆっくり動く	電圧低下	バッテリーを充電
エンジンがゆっくり動く	バッテリー電圧低下	充電・交換
	エンジンオイルが劣化	エンジンオイル交換 エンジンオイルフィルター交換
	気温が低い	オイルの硬さを変更
排気ガスが異常に臭う	エアフィルターの詰まり	エアフィルター交換
排気ガス中に若干の煙	燃料フィルター詰り	燃料フィルターを清掃
	水分離器の詰り	水分離器を清掃
	エアフィルターの詰り	エアフィルターを清掃
排気ガスが白煙	燃料に水混入	ウォーターセパレーターの水除去
	燃料ホースの詰まり	燃料ホースの交換
	エンジンオイルが硬い	オイル粘度変更
	燃料圧力低下	燃料ポンプ交換
	インジェクター損傷	修理を依頼
	バルブギャップ異常	修理を依頼
	圧縮比低下	エンジンOH
燃費が悪い	インジェクター損傷	修理を依頼
	バルブギャップ異常	修理を依頼
	圧縮比低下	エンジンOH 修理を依頼

## トラブル対応

症状	原因	対策
出力低下	燃料フィルター詰り	燃料フィルターを清掃・交換
	セパレーターの詰り	ストレーナーを清掃・交換
エンジンが停止しない	停止ソレノイド不動	燃料バルブを閉め強制停止
		接続を確認
		停止ソレノイド交換
エンジン高速で ゆっくり動く	アクセルが低速モード	アクセルを高速にする
	パーキングブレーキ作動	ブレーキ解除
	ブレーキ固着	ブレーキドラムOH
	タイヤがスリップ	タイヤを洗浄
甲高い音がる	作動油オイル劣化	作動油の交換
	作動油フィルターの詰り	作動油フィルターの交換
	作動油オイルが少ない	作動油の補充・交換
ブラシの動きが悪い	アクセルが低速モード	アクセルを高速にする
	油圧系統のトラブル	油圧系統OH 修理を依頼
吸引しない	スイッチ損傷	スイッチ交換
	ヒューズ切れ	ヒューズ交換
吸引が悪い	フィルターの詰まり	フィルターの洗浄・交換
	フィルター周りのシール劣化	シールの交換
粉塵が舞う	ブラシの磨耗	ブラシの交換
	フィルターの詰まり	フィルターの洗浄・交換
	ブラシ周りのリップ破損	リップの調整・交換
ゴミが取れない	フラップが下がっていない	フラップを下げる
	ブラシの磨耗	ブラシの交換
コンテナが昇降しない	エンジン回転が低い	エンジン回転を高速にする
	ゴミが満杯・過積	ゴミを取り出す
	ヒューズが切れている	ヒューズを交換
	バルブの不良	バルブの交換
ヘッドライトが点灯しない	バルブ切れ	バルブを交換
	スイッチ損傷	スイッチ交換
	ヒューズ切れ	ヒューズを交換
ウインカーが点灯しない	バルブ切れ	バルブを交換
	スイッチ損傷	スイッチ交換
	ヒューズ切れ	ヒューズを交換
テールランプが点灯しない	バルブ切れ	バルブを交換
	ヒューズ切れ	ヒューズを交換

# 補修部品

補修部品			部品番号
メインブラシ		ソフト	6.988-801.0
		標準	6.988-8000.0
		固定ナット赤	6.987-264.0
		カバー固定超ネジ	6.987-264.0
サイドブラシ		ソフト	6.905-620.0
		標準	6.905-083.0
		固定ナット 赤	6.987-264.0
ブラシ リップ		リアリップ	6.988-845.0
		サイドリップ 左	6.987-481.0
		サイドリップ 右	6.987-482.0
		コンテナリップ	6.988-872.0
バッテリー	ヨーロッパタイプ	60Ah	6.987-642.0
ダストフィルター		必要数：2個	3.137-074.0
エンジンエアフィルター		インナー	6.987-362.0
		アウター	6.987-361.0
エンジンオイルフィルター		ヤンマー品番 119305-35151	6.988-475.0
燃料フィルター カートリッジのみ		ヤンマー品番 119810-55650	6.989-322.0
燃料セパレーター カートリッジのみ		ヤンマー品番 171081-55910	6.989-317.0
フィルター O-リング			6.989-830.0
ホイールボルト			6.988-991.0
ヒューズ		車両用ヒューズを使用	

# 仕様

仕様			
駆動方法		油圧駆動	
操舵方式		油圧操舵	
走行スピード	前進	Km/h	9
	後進		4
登坂能力		%	18
清掃能力	メイン	m <sup>2</sup> /h	8,100
	サイド+メイン	m <sup>2</sup> /h	10,800
清掃幅	メイン	mm	900
	サイド+メイン	mm	1,200
ブラシ駆動		油圧	
メインブラシ	長×直径×毛足	mm	900×300・80
	回転数	min <sup>-1</sup>	350
サイドブラシ	直径	mm	600
	回転数	min <sup>-1</sup>	0～60
燃料規格		軽油	JIS K2204 2号
使用環境			
異物混入保護等級 IP		IPX 3	
外気温度		°C	-5～40
湿度		%	0～90
燃料タンク	容量	l	16
燃料消費量		L/h	4
タイヤ			
前輪・後輪	サイズ	ハード	15-4.5×8
ブレーキ			
前輪	タイプ	油圧	
駐車ブレーキ		機械式	
大きさ			
寸法(mm)(長さ×幅×高さ)		2,080×1,250×1,450	
回転半径	右旋回	mm	1,350
	左旋回		1,350
質量	乾燥重量	Kg	800
	総重量		1329
	前輪荷重		786
	後輪荷重		543
ダストコンテナ			
昇降装置		油圧駆動	
上昇高さ		mm	1,400
容量		L	250
ダスト フィルター			
タイプ		カートリッジ	
容量		m <sup>2</sup>	4.4 (2.2 m <sup>2</sup> ×2個)
チリ落とし		電動	
吸引風量		m <sup>3</sup> /h	800
吸引圧力		mbar	15.5

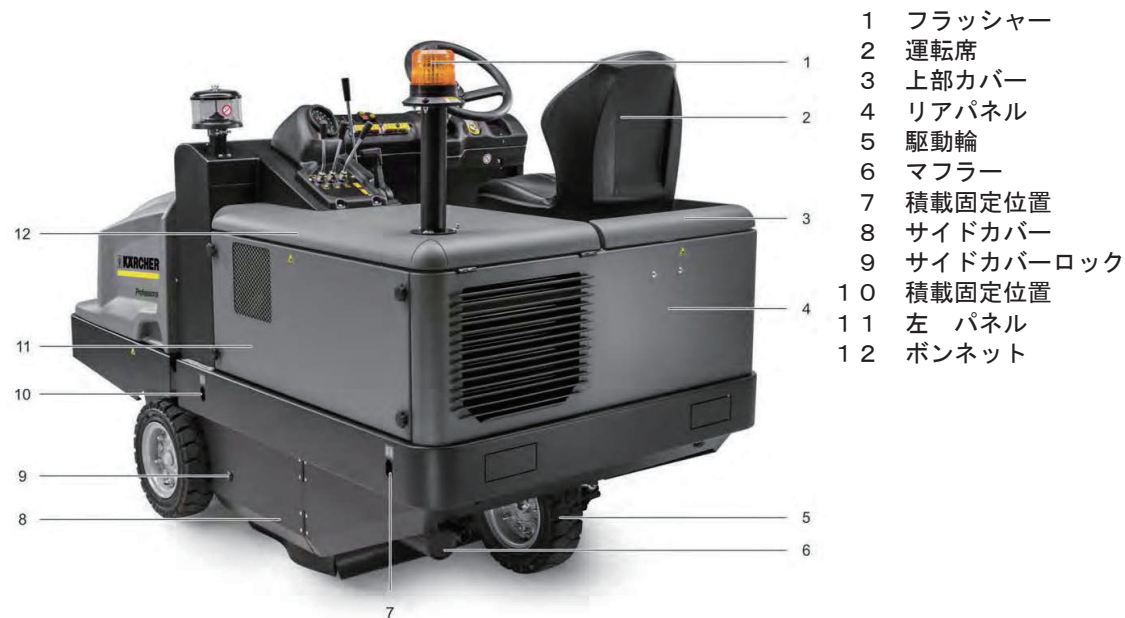


エンジン			
製造会社		ヤンマー	
型式		3TNV76A	
種類	水冷4サイクル3気筒立型ディーゼル		
排気量	cm <sup>3</sup>	1,116	
出力	kW	15.8	
ボア×ストローク	mm	76 × 82	
気筒数	3気筒		
冷却	ラジエター方式		
給気方式	自然給気		
潤滑方式	強制潤滑方式		
回転方向	反時計回転		
始動方式	セルスターター方式		
適合排気ガス規制		EPA ノンロード4次規制 EC ノンロード Stage III A 規制 国内 自主規制 (2次)	
回転数	常用	min <sup>-1</sup>	2,500
	max		2,500
	暖気		1,300
トルク	2100 rpm	Nm	67.9
冷却水	エンジン	L	0.9
	ラジエター		4.1
オイルフィルター		タイプ	カートリッジ
燃料フィルター			カートリッジ
燃料セパレーター			カートリッジ
エアフィルター			乾湿式 2段
オイル			
エンジンオイル	容量	L	3.5
	25°C<	SAE	30 / 10W-30 / 15W-40
	0 ~ 25°C		20 / 10W-30 / 10W-40
	< 0°C		10W / 10W-30 / 10W-40
作動油	粘度	HV	46
	容量	L	26.5 (全交換) 21.2 (タンク容量)
電源			
バッテリー	電圧	V	12
	容量	Ah	60
発電機	電圧	V	12
	発電量	A	55
騒音値			
騒音値 EN 60355-2-72	LpA	d B(A)	80
	KpA		3
	L <sub>WA</sub> + K <sub>WA</sub>		99
振動			
ハンドル		m/s <sup>2</sup>	< 2.5
シート			0.8

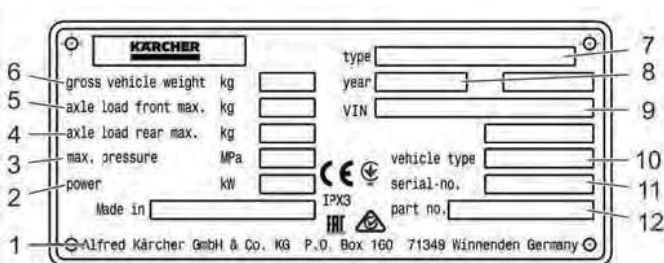
# 各部名称



- 1 プレフィルター
- 2 フロントカバー ロック
- 3 フロントカバー
- 4 サイドブラシ油圧モーター
- 5 サイドブラシ
- 6 サイドブラシアーム
- 7 前輪
- 8 サイドカバーロック
- 9 サイドカバー
- 10 積載固定位置
- 11 積載固定位置
- 12 右 パネル



- 1 フラッシュャー
- 2 運転席
- 3 上部カバー
- 4 リアパネル
- 5 駆動輪
- 6 マフラー
- 7 積載固定位置
- 8 サイドカバー
- 9 サイドカバーロック
- 10 積載固定位置
- 11 左 パネル
- 12 ボンネット



- <銘板>
- 1 製造会社住所
  - 2 出力
  - 3 最大作動圧力
  - 4 リアアクスル荷重
  - 5 フロントアクスル荷重
  - 6 許容総重量
  - 7 型式
  - 8 製造年
  - 9 車両識別番号
  - 10 電装タイプ
  - 11 製造番号
  - 12 製品番号

# 各部名称

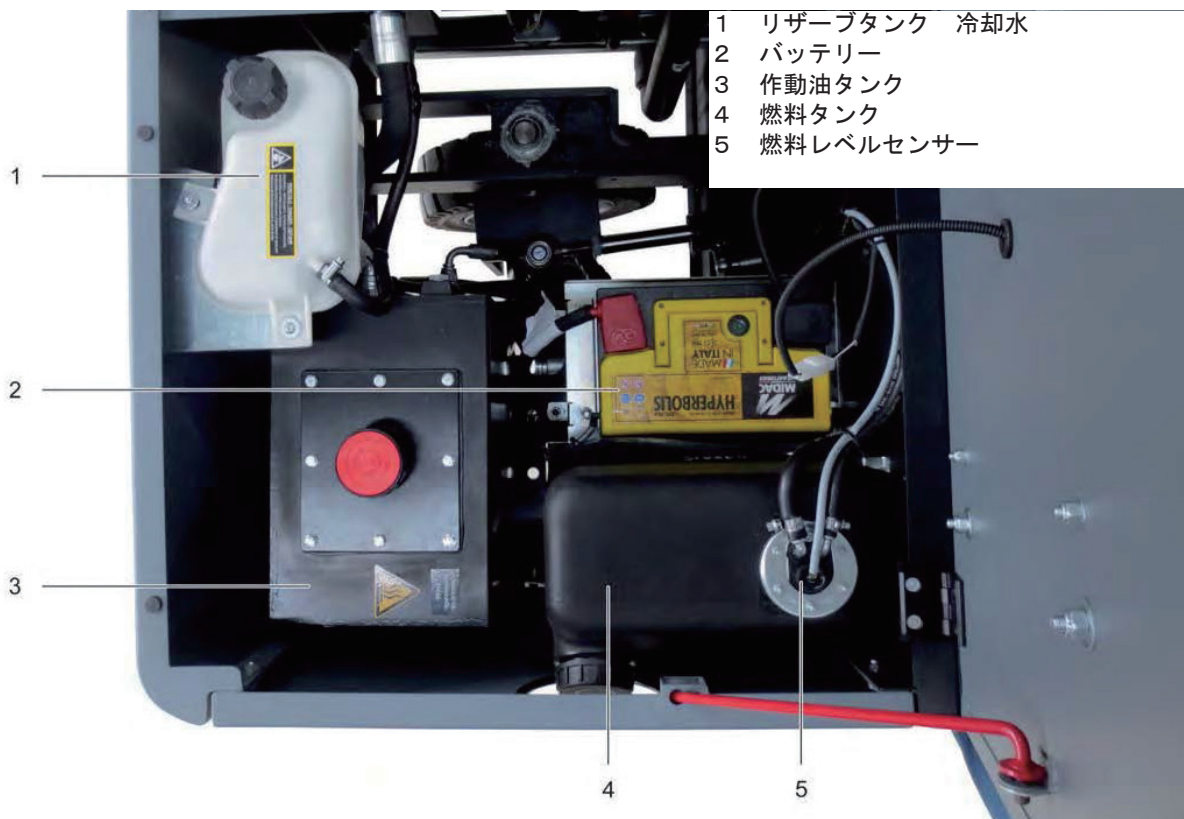
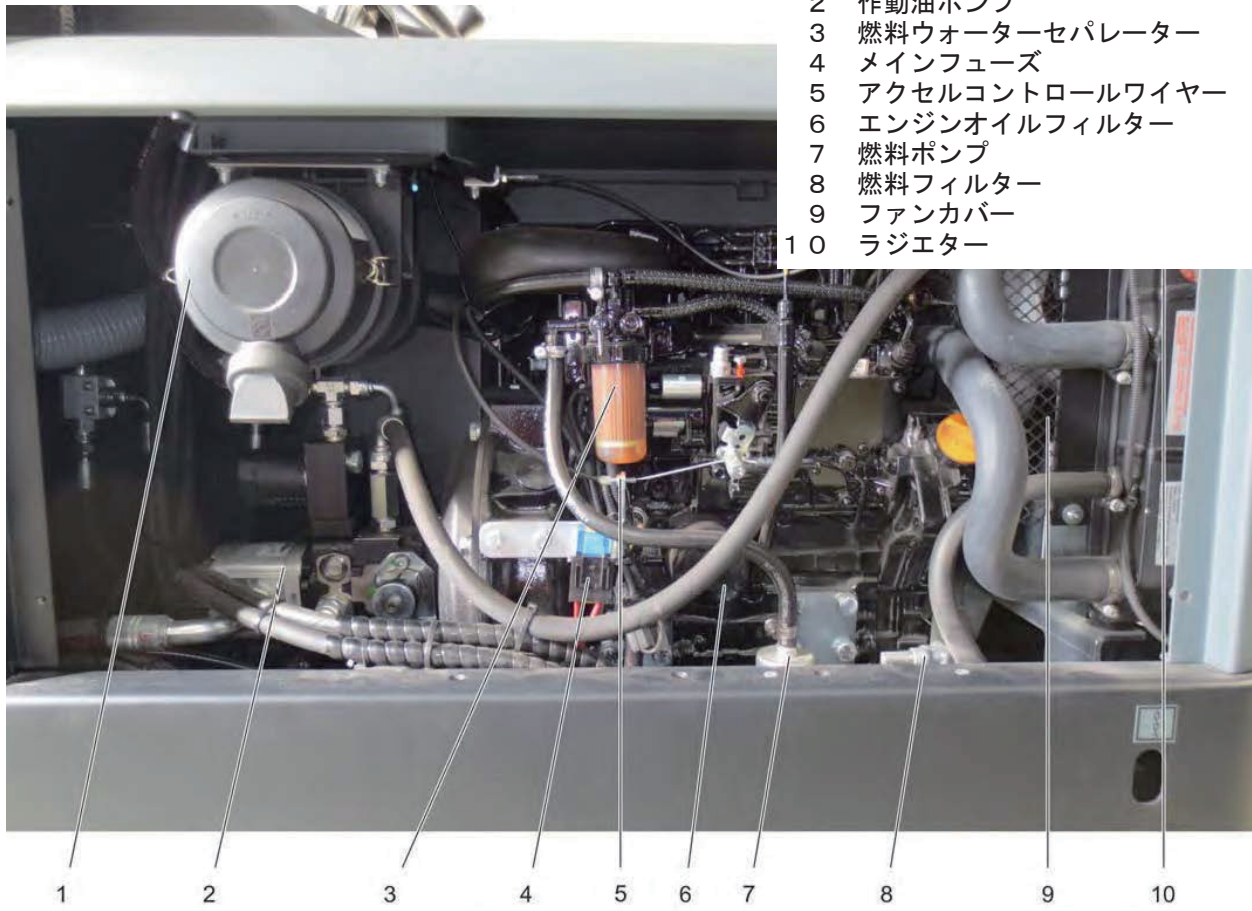


- |   |                                                                                          |    |                                                               |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------|
| 1 | マルチメーター                                                                                  | 9  | ブレーキペダル                                                       |
| 2 | メインブラシコントロールレバー<br>前方へ押す：メインブラシ格納<br>手前に引く：メインブラシ降下<br>(金具の位置により面圧を調整します)                | 10 | 駐車ブレーキレバー                                                     |
| 3 | ヒューズボックス                                                                                 | 11 | アクセルコントロール                                                    |
| 4 | ライト・ブLOWER・フィルタースイッチ<br><ブLOWERスイッチ><br>前方：ブLOWER駆動<br>中心位置：停止<br>後方：フィルターチリ落とし・ブLOWER停止 | 12 | コンテナフラップ開閉レバー<br>前方へ押す：フラップが開き<br>手前に引く：フラップが閉じ               |
| 5 | ハンドル                                                                                     | 13 | メイン・サイドブラシコントロールレバー<br>前方に押す：ブラシ作動+サイドブラシ降下<br>手前に引く：メインブラシ作動 |
| 6 | キースイッチ・ウインカースイッチ                                                                         | 14 | コンテナ昇降レバー<br>前方へ押す：ダストコンテナ格納<br>手前に引く：ダストコンテナ上昇               |
| 7 | ダッシュボード                                                                                  |    |                                                               |
| 8 | 走行ペダル<br>前方を踏む：前進<br>後方を踏む：後退                                                            |    |                                                               |



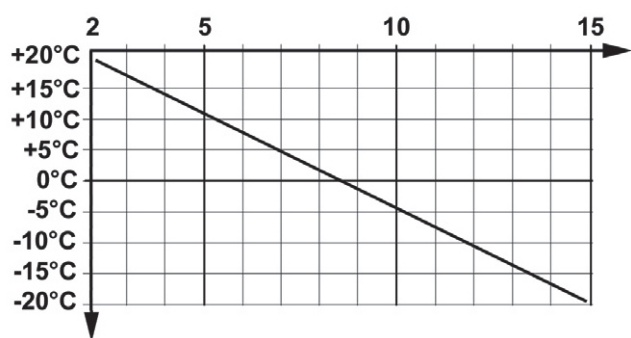
- <マルチメーター>
- |    |                       |
|----|-----------------------|
| 1  | 累積作動時間計               |
| 2  | 充電警告ランプ               |
| 3  | 油圧警告灯                 |
| 4  | 冷却水温警告灯               |
| 5  | エンジン エアフィルター警告灯       |
| 6  | 燃料警告灯                 |
| 7  | 予熱ランプ                 |
| 8  | 非該当                   |
| 9  | ブレーキ灯 / ロービーム (オプション) |
| 10 | 燃料計                   |
| 11 | モーター始動時のみ点灯 (自己診断)    |
| 12 | 非該当                   |
| 13 | 非該当                   |
| 14 | 非該当                   |

# エンジンルーム





## 作動油の管理



エンジン起動後、必ず暖気運転を行ってください。

作動油の温度が上昇しない状態で清掃作業を行うと作動油系統の負荷が高く重大な損傷を生じます。

外気温度	暖気運転時間
20℃	約 2分
10℃	約 5分
0℃	約 8分
-10℃	約 11分
-20℃	約 15分



- 1 給油口
- 2 レベルゲージ

コンテナを下げた状態でオイルレベルを確認します。  
MIN ~ MAX の間にある事を確認してください。

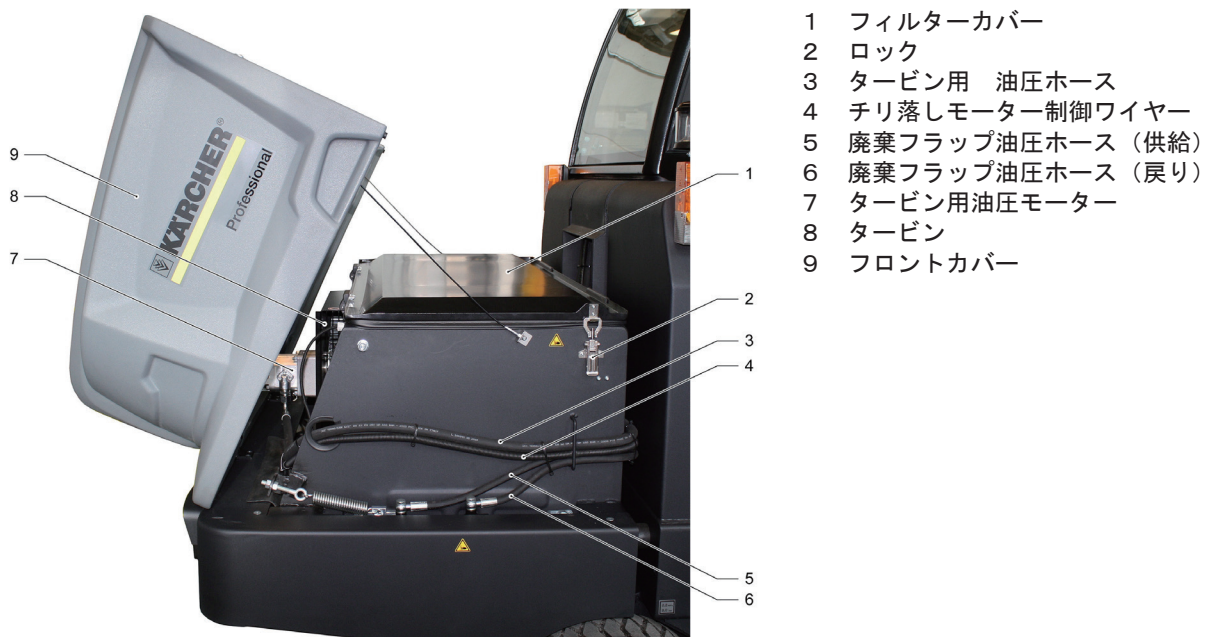
水分含有（凝縮水）は油圧部品に大きなダメージを与えます。  
定期的に作動油の確認を行ってください。

**作動油の点検と交換**  
作動油は稼働時間、500 時間もしくは 2 毎年毎（短い時間）の交換を推奨しておりますが、点検した結果、汚れや劣化がひどい場合は稼働時間に関係なく交換を行ってください。

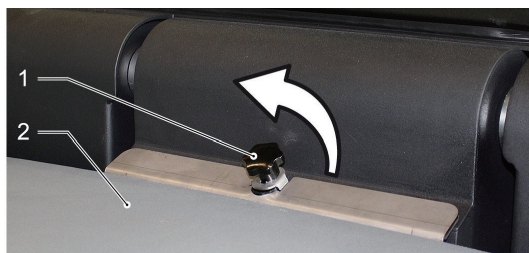
作動油の汚れや劣化が有る場合は速やかにサービスフロントへご連絡ください。

指定油脂 HV 46

# ダストフィルター



- 1 フィルターカバー
- 2 ロック
- 3 タービン用 油圧ホース
- 4 チリ落としモーター制御ワイヤー
- 5 廃棄フラップ油圧ホース (供給)
- 6 廃棄フラップ油圧ホース (戻り)
- 7 タービン用油圧モーター
- 8 タービン
- 9 フロントカバー



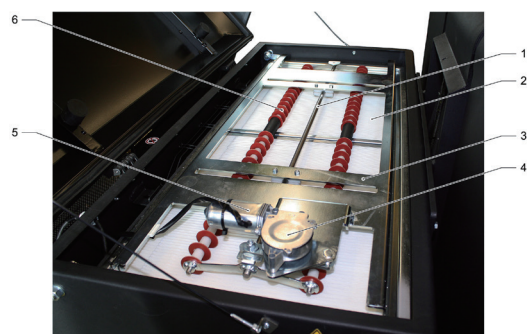
<フロントカバー>  
フロントカバー ロックを緩めてください。  
フロントカバーを前方へ開けてください。

- 1 フロントカバー ロック
- 2 フロントカバー



<フィルターカバー>  
ラッチを解除  
フィルターカバーを開けてください。

- 1 フィルターカバー
- 2 フィルターボックス
- 3 ラッチ



- 1 稼動ロッド
- 2 フラットフィルター 6.981-000.0
- 3 フレーム
- 4 駆動ギア
- 5 チリ落としモーター
- 6 チリ落とし



## コンテナ操作



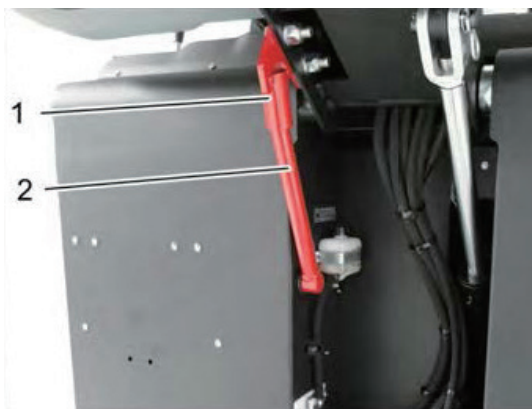
- 1 ブラシ レバー
- 2 コンテナ レバー
- 3 メインブラシ レバー
- 4 コンテナフラップ レバー



### <コンテナ>

#### ごみの廃棄

- 1 ブラシレバー①を中立にしてください。
- 2 コンテナフラップレバー④を手前に引いてください。  
フラップを閉める。
- 3 コンテナレバー②を手前に引いてください。  
任意の高さに調整を行ってください。
- 4 コンテナフラップ レバー④を前方へ押してください。  
コンテナフラップが開きごみが出てきます。
- 5 コンテナレバー②を前方へ押し格納してください。



### <安全バー>

- 1ホルダー
- 2安全バー

コンテナのメンテナンスを行う場合は安全バーを必ず使用してください。

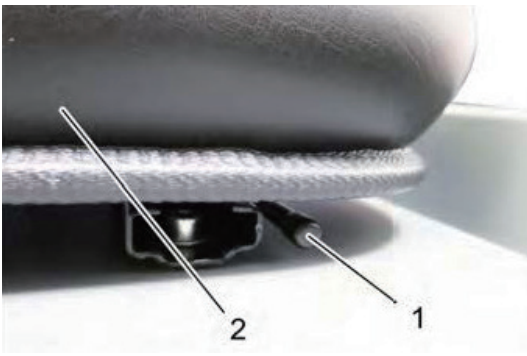
コンテナを最上位まで持ち上げてください。  
エンジンを停止してください。  
安全バーをホルダーに挿入してください。



- 1 スクリュー  
分解する場合は新しいスクリューを用意ください。
- 2 プレート
- 3 リップ

コンテナレバーを操作してください。  
コンテナ排出口にフラップが装着されています。  
安全バーでコンテナを固定してください。  
リップが損傷している場合は有償修理を依頼してください。

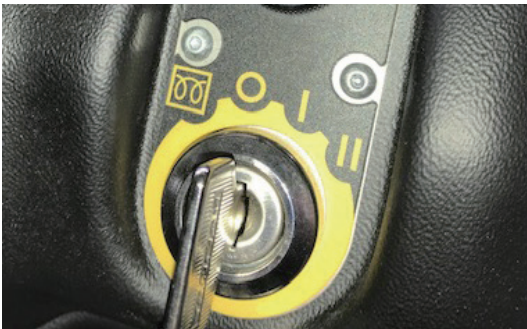
# 走行手順



- 1 シートアジャスター
- 2 シート

シートに確り座ってください。  
走行ペダル・ブレーキペダルを操作できるようにシートを調整してください。

調整後、正しくロックされていることを確認してください。



<キースイッチ>

**00** 予熱（グロー）

- 停止
- I 運転
- II 起動



- 1 ブレーキペダル
- 2 走行ペダル 前進
- 3 走行ペダル 後進

<注意>

アクセルペダルの操作は慎重に踏み込んでください。  
進行方向を変更する場合は、完全に停止した後行ってください。  
アクセルペダル・走行モーターが壊れます。



- 1 駐車ブレーキ
- 2 アクセルコントロール

A 起動準備

運転席にしっかり座ってください。  
駐車ブレーキをかけてください。  
アクセルコントロールを前方へ1/3スライドしてください。

B 予熱

キースイッチを差し込んでください。  
予熱位置にキースイッチを保持してください。

C 起動

ブレーキペダルを踏みます。  
予熱ランプが消灯した後、キーを“II”の位置に回してください。  
エンジン起動後、直ちにキーを放してください。

<注意>

スターターモーターを10秒以上起動しないこと  
起動しない場合  
10秒間放置した後、起動動作を繰返してください。

# 清掃手順

ワイヤー・梱包バンドなどを掃き込まないでください。

ブラシ系統が損傷する可能性があります。

<注意>

最適なクリーニング結果を得るためには、路面状況を考慮し走行速度を調整する必要があります。

運転中は、ダストフィルタのチリ落としを定期的に行ってください。

ほこりの多い場所で頻繁に作業する場合は、フィルタのチリ落としを頻繁に行う必要があります。



- 1 ブラシ レバー
- 2 コンテナ レバー
- 3 メインブラシ レバー
- 4 コンテナフラップ レバー

## ブラシ レバー①

前方へ押す ⇒ ブラシが駆動します。  
(サイドブラシが降下)

手前に引く ⇒ ブラシ停止

## コンテナ レバー②

前方へ押す ⇒ コンテナが格納

手前に引く ⇒ コンテナ上昇します。

## メインブラシ レバー③

前方へ押す ⇒ メインブラシ上昇

手前に引く ⇒ メインブラシが降下します。

## コンテナフラップ レバー④

前方へ押す ⇒ コンテナフラップが開きます。  
(ゴミの回収、廃棄)

手前に引く ⇒ コンテナフラップが閉じます。  
(移動・ゴミは回収できません)



## <ブラシの調整>

### 1 降下位置固定具

金具の位置により面圧を調整します。



## <ブローア・チリ落としスイッチ>

前方：ブロー駆動 (乾いた路面清掃)

中立：停止 (濡れた路面清掃)

後方：フィルタチリ落とし・ブロー停止

## 床面が乾いている場合

ブロースイッチを押すと吸引が開始されます。

## 定期的にフィルタのチリを落としてください。

フィルタスイッチを10秒間押してください。

押している間チリ落としが作動します。



始業前・始業後に必ずチリ落としを行ってください。

コンテナを持ち上げる前にチリ落としを行います。

連続作業を行う場合は1時間毎に作動させてください。

粉塵が多い場合はチリ落としの頻度を多くしてください。

フィルタが詰まるとメインブラシ扉付近からホコリが外部に飛散します。

濡れた路面を清掃する場合はブロースイッチは切ってください。



# 清掃手順



## <ウインカースイッチ>

キースイッチ上部にあります。

自動でスイッチは戻りません。

ウインカー使用后、スイッチを中立位置に戻してください。

左折：左に倒してください。

停止：中立

右折：右に倒してください。



- 1 ブラシ レバー
- 2 コンテナ レバー
- 3 メインブラシ レバー
- 4 コンテナフラップ レバー

## <乾いた路面の清掃手順>

### メインブラシのみの清掃

- 1 アクセルコントロールを前方へ押します。
- 2 ブラシレバー①を手前に引きます。  
メインブラシが駆動します。
- 3 メインブラシレバー③を手前に引きます。  
メインブラシが降下します。
- 4 コンテナフラップレバー④を前方へ押します。  
フラップが開きゴミが回収できます。  
フラップが閉じられていると  
ゴミは回収できず、粉塵が舞います。
- 5 ブロアースイッチを入れてください。  
粉塵の回収が始まります。

### サイドブラシを併用

- 1 アクセルコントロールを前方へ押します。
- 2 ブラシレバー①を前方へ押します。  
メインブラシが駆動しサイドブラシが降下します。
- 3 メインブラシレバー③を手前に引きます。  
メインブラシが降下します。
- 4 コンテナフラップレバー④を前方へ押します。  
フラップが開きゴミが回収できます。  
フラップが閉じられていると  
ゴミは回収できず、粉塵が舞います。
- 5 ブロアースイッチを入れてください。  
粉塵の回収が始まります。



## <ごみの廃棄>

- 1 ブラシレバー①を中立にしてください。
- 2 コンテナフラップレバー④を手前に引いてください。  
フラップを閉める。
- 3 コンテナレバー②を手前に引いてください。  
任意の高さに調整を行ってください。
- 4 コンテナフラップ レバー④を前方へ押ししてください。  
コンテナフラップが開きごみが出てきます。
- 5 コンテナレバー②を前方へ押し格納してください。

# ヒューズ



## <ヒューズ>

エンジンルーム内に有ります。  
カバーを取外してください。  
メインヒューズの溶断が無いか確認してください。

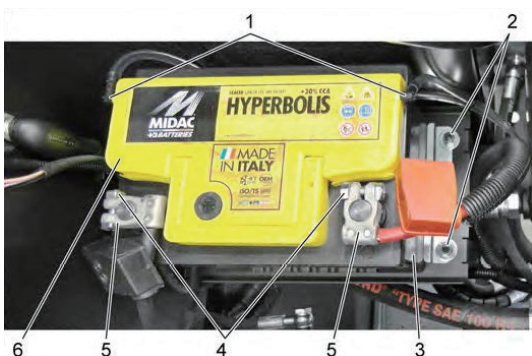
メインヒューズ FU 01 60A



N o.	容量	部品番号	制御
FU01	60A	6. 644-277. 0	メインヒューズ
FU02	25A	7. 644-012. 0	ホーン・吸引モーター
FU03	10A	7. 644-006. 0	マルチメーター
FU04	5A	7. 644-013. 0	回転灯
FU05	25A	7. 644-012. 0	エンジン停止ソレノイド
FU06	10A	7. 644-017. 0	キャビン・ワイパー
FU07	10A	7. 644-017. 0	燃料ポンプ
FU08	3A	7. 644-017. 0	スターター
FU09	7. 5A	7. 644-007. 0	左 ウインカー
FU10	7. 5A	7. 644-007. 0	右 ウインカー
FU11	10A	7. 644-017. 0	ヘッドライト
FU12	25A	7. 644-012. 0	チリ落とし
FU13	5A	7. 644-007. 0	後退ブザー

操作パネルにヒューズボックスがあります。  
カバーを取外してください。  
ヒューズの溶断が無いか確認してください。

交換する場合  
車両用のヒューズをご使用いただけます。



## <バッテリー>

エンジンルーム内に有ります。  
シートカバーを持ち上げてください。  
ステーで固定してください。  
バッテリーターミナルを取外してください。  
マイナス端子を先に取り外します・  
バッテリーホルダーを緩めてください。

- 1 ホース
- 2 ナット (バッテリーホルダー固定用)
- 3 プラス端子
- 4 スクリュー
- 5 バッテリーターミナル
- 6 バッテリー 12V-60Ah (ヨーロッパタイプ)

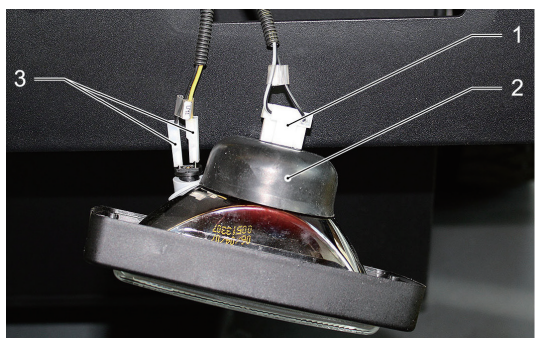
市販の欧州車用バッテリーが使用できます。

# ヘッドライト



<ヘッドライトの取り外し>

スクリューを取り外す。



ランプを引き出す。  
プラグを取り外す。

- 1 電源プラグ
- 2 カバー
- 3 ポジションランプ T4W/BA9S -12V 7.651-004.0

市販の車両用バルブが使用できます。



固定リングを回しバルブを取り外す。

- 1 固定リング
- 2 ハロゲン H4 バルブ 12V 60/55W H4 6.987-168.0

市販の車両用バルブが使用できます。



# ウインカー



## <ウインカースイッチ>

キースイッチ上部にあります。

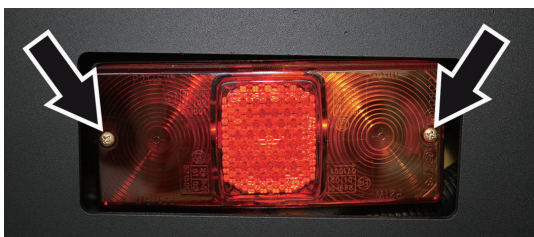
自動でスイッチは戻りません。

ウインカー使用后、スイッチを中立位置に戻してください。

左折：左に倒してください。

停止：中立

右折：右に倒してください。



## <テールランプ>

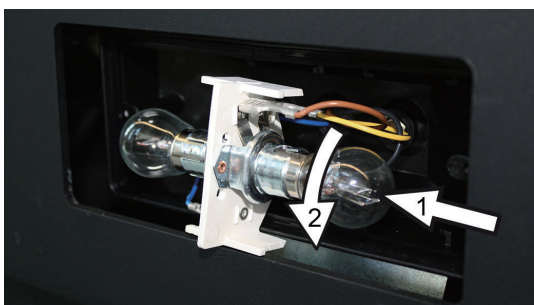
HL01・HL02

バルブ交換

スクリューを取り外す。

カバーを取り外す。

6.987-963.0 リアライト ASSY



ランプを押しながら回し取り外す。

7.651-014.0 ウインカーバルブ P21W-BA15s-12V

7.651-025.0 バルブ P21/5W-BAY 15d-12V

市販の車両用バルブが使用できます。



## <サイドランプ>

スクリューを取り外してください。

カバーを取り外してください。



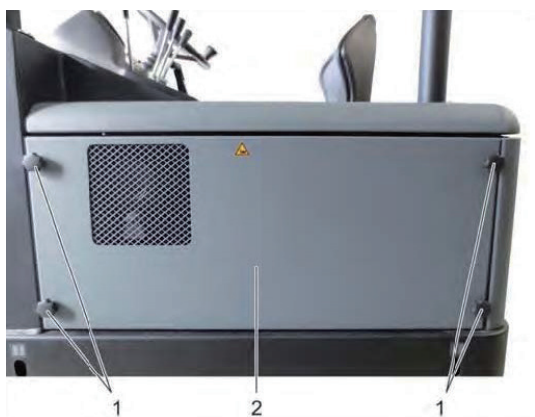
ランプを押しながら回し取り外してください。

7.651-014.0 ウインカーバルブ P21W-BA15s-12V

市販の車両用バルブが使用できます。



# エンジン エアフィルター



- <左 パネル>  
1 固定スクリュー  
2 左パネル

固定スクリュー 4本を取り外します。  
左パネルを取りはずしてください。



- <ボンネット>

ボンネットを後方へ開けてください。

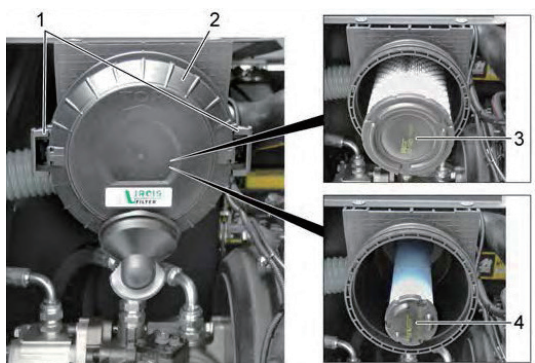


- <プレフィルター>  
1 ナット  
2 フィルター

エンジン停止時のみ作業を行ってください。  
ナットを取外してください。  
フィルターの粉塵を廃棄してください。  
基の状態に戻してください。

- <警告>

取外した状態で使用しないこと  
エアクリナーが瞬時に詰まります。  
エンジン起動時フィルターへ流水をかけないこと  
エンジンが重大な損傷に至ります。



- <エアクリナー>

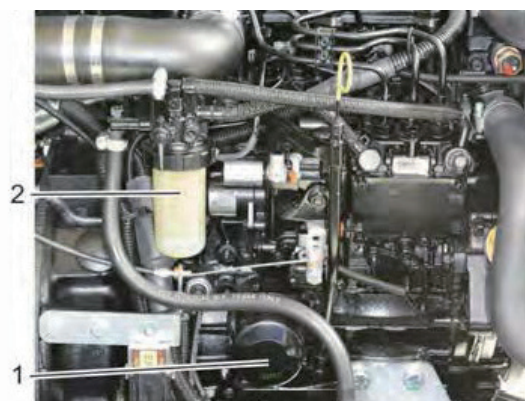
- 1 ロック  
2 エアクリナーカバー  
3 フィルター 乾式 6.987-361.0  
4 フィルター 湿式 6.987-362.0

右カバーを取外してください。  
ロックを解除してください。  
フィルターを取り外し交換してください。

- <注意>

湿式（青色）はブロー禁止

# エンジン オイル・フィルター



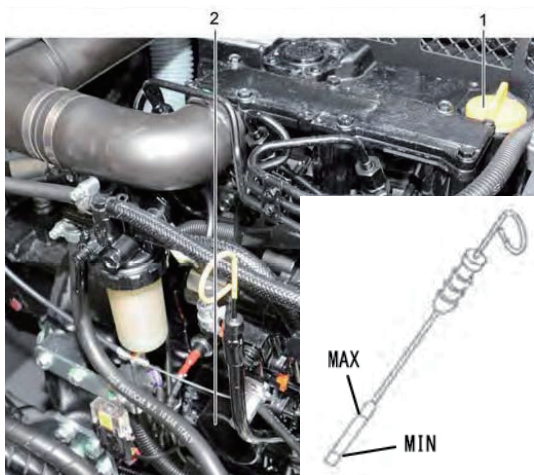
- 1 オイルフィルター
- 2 ウォーターセパレーター



<エンジンオイル交換>

- 1 ドレインプラグ 6.905-000.0  
パッキン 7.362-007.0 A16x20

エンジンが冷えた状態で作業を行ってください。  
オイル受けを用意してください。  
ドレインボルトを取外してください。  
組込の際は新しいパッキンを使用してください。

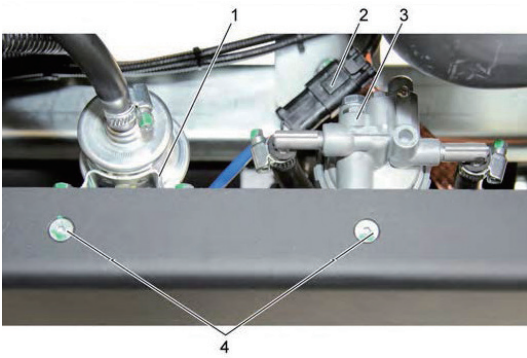


- 1 オイルキャップ
- 2 オイルフィルター 6.988-475.0

オイルキャップの周りを清掃してください。  
オイルキャップを取外してください。  
オイルフィルターを取外してください。  
オイルフィルターのパッキンへオイルを塗布してください。  
オイルフィルターを装着してください。

エンジンオイルを適正量補充してください。  
オイルキャップを閉めてください。  
レベルゲージで適正量 (MAX ~ MIN) か確認してください。  
エンジンを1分間動かし停止してください。  
停止後10秒間放置しレベルゲージで再度確認してください。

# 燃料フィルター・セパレーター



## <燃料ポンプ・燃料フィルター>

左パネルを取外してください。

サイドフレームの陰にあります。

燃料フィルターの汚れを確認してください。

汚れている場合は、燃料コックを閉めてください。

- 1 燃料ポンプ 6.987-102.0
- 2 接続コネクター
- 3 燃料フィルター 6.989-316.0
- 4 スクリュー (サポート固定用)

## <燃料フィルター>

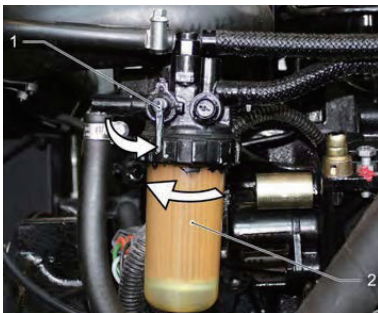
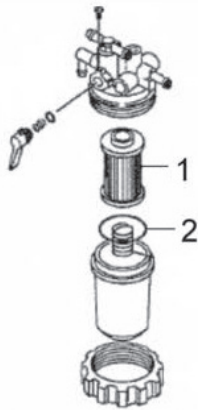
- 1 フィルター 6.989-322.0
- 2 O-リング 6.989-830.0

フィルターケースを取外してください。

燃料フィルターを清掃・交換を行ってください。

O-リングに損傷がある場合は交換してください。

燃料フィルターの定期的な交換を行ってください。



## <ウォーターセパレーター>

エンジン側面に取付けられている。

- 1 燃料コック
- 2 ウォーターセパレーター

燃料コックを閉めてください。

カップを取外してください。

カップに水がたまっている場合は直ち取り外し排水してください。

O-リングに損傷がある場合は交換してください。



## 作業後のエア抜き

新しいストレーナーを取付けてください。

カップを基の場内に戻してください。

コックを開けてください。

エア抜きプラグを緩めてください。

(コックの右側スクリュー)

キースイッチをIの位置に合わせてください。

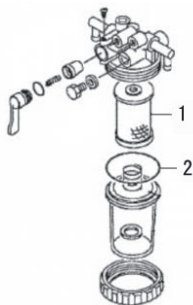
(スターターは回さないでください)

燃料ポンプが作動します。

燃料が溢れ出るまで作動させキースイッチを切ってください。

ストレーナーの定期的な交換を行ってください。

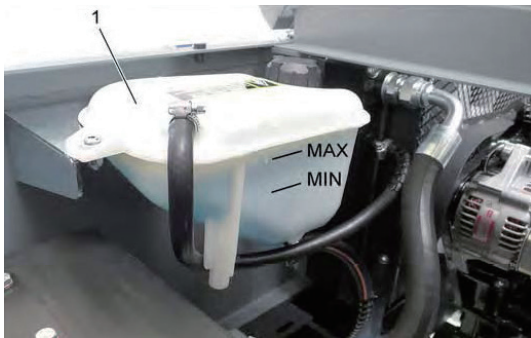
漏れ出た燃料は拭ってください。



- 1 ストレーナー 6.989-317.0
- 2 O-リング 6.989-830.0



# 冷却水・発電器・ブレーキオイル



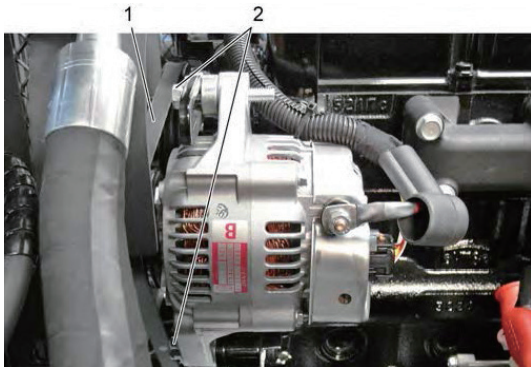
## <クーラント リザーブタンク>

- 1 リザーブタンク

リザーブタンクの液量を確認してください。

## <注意>

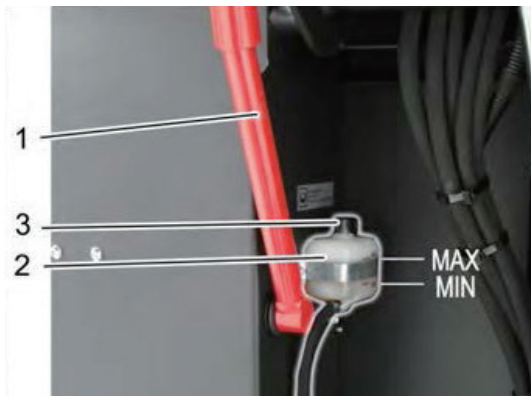
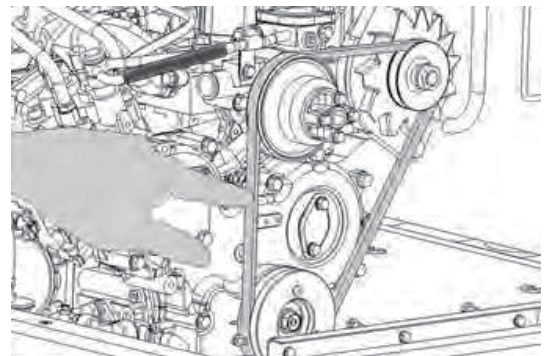
- クーラントを補充してください。
- 水を補充しないでください。
- エンジン内が錆びます。



- 1 ファンカバー
- 2 スクリュー

スクリューを緩めてください。  
Vベルトを取外してください。  
新しいVベルトを取付けてください。

テンション 7～9 mm /10Kg



## <ブレーキオイル>

- 1 安全バー
- 2 ブレーキオイルリザーブタンク
- 3 キャップ

コンテナを最上位まで上昇させてください。  
安全バーで固定してください。  
ブレーキオイルリザーブタンクのMIN ⇄ MAX レベル内に  
ブレーキオイルが有るか確認してください。

車両用ブレーキオイルを補充してください。

## 前輪・後輪（駆動）

道路運送車両法に基づく日常点検・整備の義務が使用者に課せられています。

日常点検 目視による外観の点検

- ホイールナットのゆるみや脱落がないか。
- ホイールボルトの折損や周囲に錆汁が出た痕跡がないか。
- ホイールボルトの長さに不揃いがないか。
- ホイールに錆や亀裂がないか。

点検ハンマーによる点検

- 点検ハンマーを用いホイールナットの上側をボルトが締まる方向に叩きます。
- 指に伝わる振動が、他のホイールボルトと異なったり、濁った音がしないかチェックします。

定期点検 使用者の点検項目

- トルクレンチを使用し、ホイールナットを規定トルクで締め付けましょう。
- ホイールボルトの締め付けは、対角線順に2～3回に分けて締め付けることが重要です。



前輪の状態を確認してください。

- 後輪に車止めをかけてください。
- 駐車ブレーキを作動してください
- ホイールボルトの緩み
- タイヤの溝

タイヤ溝が減っている場合はブレーキ能力が低下します。  
ホイールボルトの締付は 140Nm で締めつけてください。



後輪の状態を確認してください

- 1 フランジ固定ナット
- 2 フランジ（タイヤ固定）

- 前輪に車止めをかけてください。
- 駐車ブレーキを作動してください。
- ホイールボルトの緩み
- タイヤの溝

タイヤ溝が減っている場合は走行・操舵能力が低下します。  
ホイールボルトの締付：140Nm で締めつけてください。

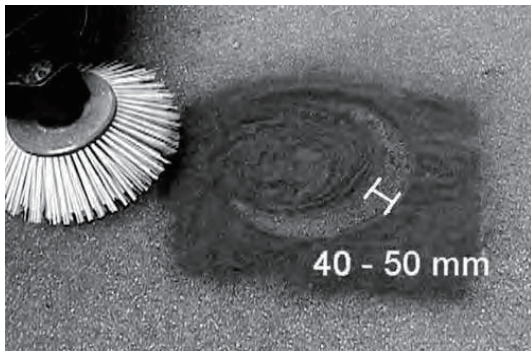


<後輪 操舵部グリスアップ>

- 1 グリスニップル

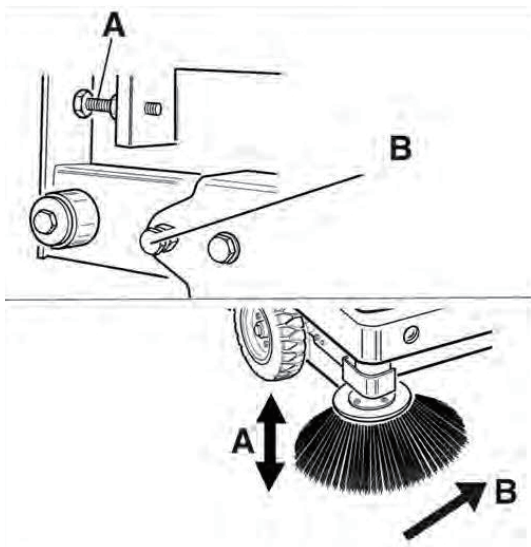
後輪 支持部上部にグリスニップルがあります。  
定期的にグリスを充填してください。

## サイドブラシ 調整・交換



### 設置調整

走行せずにサイドブラシを降ろし 10 秒間作動してください。  
サイドブラシを持ち上げてください。  
後退し接触寸法を測定してください。



A と B のスクリューで調整を行います。

A ブラシの上下調整が行えます。

B ブラシの清掃幅員を調整することが出来ます。

### <注意>

サイドブラシアームに過度な衝撃を加えた場合  
アーム構成部品が損傷しスムーズに昇降が行えません。  
サービスフロントへ有償修理を依頼してください。



### <サイドブラシの交換>

- 1 スクリュー
- 2 サイドブラシ

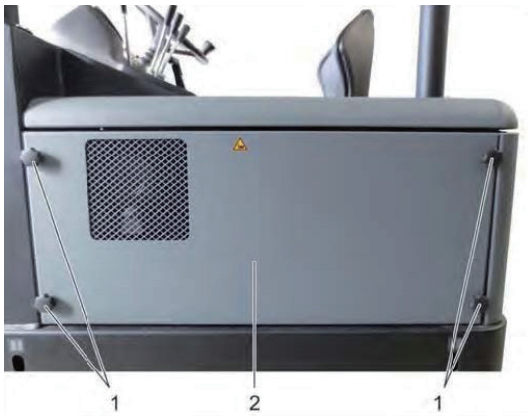


ブラシ裏面のナットを取り外してください。  
新しいブラシと交換してください。

- 1 サイドブラシ
- 2 ナット



# メインブラシ 調整・交換



- <左 パネル>  
1 固定スクリュー  
2 左パネル

固定スクリュー 4本を取り外します。  
左パネルを取りはずしてください。



- <ボンネット>

ボンネットを後方へ開けてください。

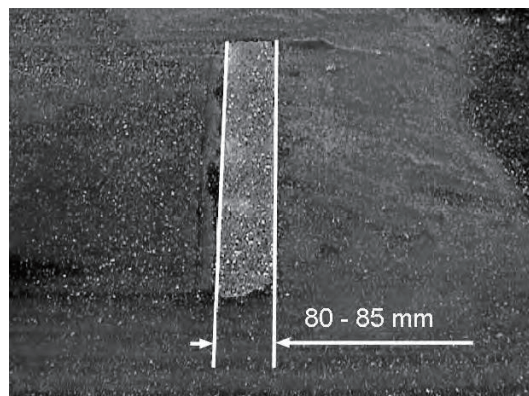


- <ブラシの調整>  
1 ブラシ降下位置固定具

降下位置固定具の位置を調整しブラシの接触幅を調整してください。

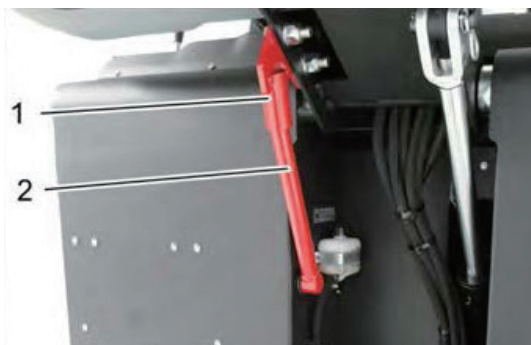
### 調整方法

走行せずにメインブラシをおろし 10 秒間動かしてください。  
メインブラシを上昇させてください。  
後退しブラシの接触痕が 80 ~ 85 cm になるように降下位置固定金具の位置を調整してください。





## メインブラシ 調整・交換



- 1 ホルダー
- 2 安全バー

コンテナを最上まで上昇させてください。  
エンジンを停止してください。  
安全バーを敷設してください。



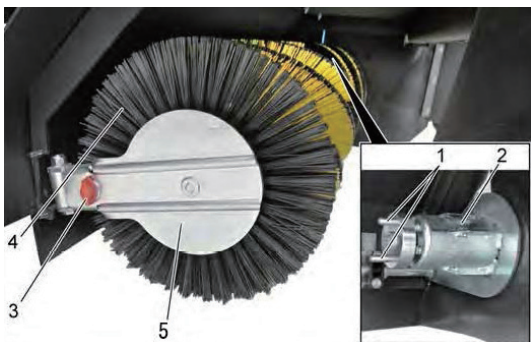
- 1 ロック
- 2 サイドカバー

サイドカバーのロックを解除してください。  
サイドカバーを開けてください。



- 1 フレームック
- 2 蝶ナット
- 3 サイドリップ

蝶ナットを取外してください。  
フレームを取外してください。  
リップを開けてください。



- 1 フランジ
- 2 油圧モーター
- 3 蝶ナット (赤色)
- 4 ブラシ
- 5 ブラシフランジ (開閉)

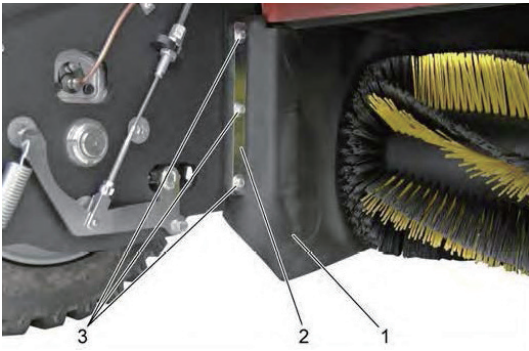
ブラシフランジを手前に開けてください。  
ブラシを引き出してください。

### 取付

油圧モーター側にブラシ挿入部を被せてください。  
反対側に行きブラシを押しながら回してください。  
油圧モーター側フランジの突起とブラシの穴が合うとブラシが押し込まれます。  
反対側のブラシフランジ (開閉) の突起とブラシの穴を合わせながら閉めてください。  
指を挟まないよう注意してください。  
蝶ナットを閉め基の状態に戻してください。



## メインブラシ リップ交換

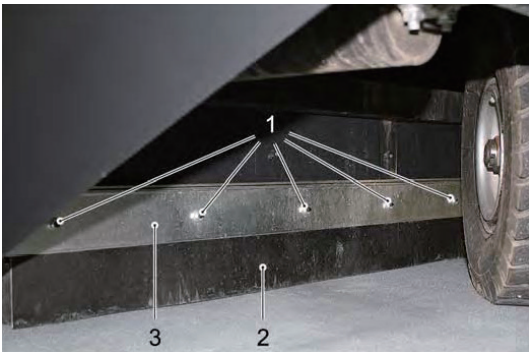


### <サイドリップ>

- 1 サイドリップ
- 2 プレート
- 3 スクリュー

サイドリップが損傷している場合  
直ちに取替えてください。粉塵が飛散します。

ブラシを取外してください。  
スクリューを取外してください。  
プレートを取り外してください。  
サイドリップを取り換えてください。  
床面とサイドリップの隙間は $\approx 3$  mmに調整してください。



### <リアリップ>

- 1 スクリュー
- 2 リアリップ
- 3 プレート

リアリップが損傷している場合  
直ちに取替えてください。粉塵が飛散します。

ブラシを取外してください。  
スクリューを取外してください。  
プレートを取り外してください。  
リアリップを取り換えてください。  
床面とリアリップの隙間は1～3 mmに調整してください。

# 作動油の交換

## 作動油の点検と交換

作動油は稼働時間、500 時間もしくは2 毎年毎（短い時間）の交換を推奨しております、点検した結果、汚れや劣化がひどい場合は稼働時間に関係なく交換を行ってください。

作動油の汚れや劣化が有る場合は速やかにサービスフロントへご連絡ください。

作動油の交換は熟練を要します。

指定油脂 HV 46



### <作動油の交換>

作動油の交換作業はサービスフロントへ有償修理をご依頼ください。異物が混入した場合油圧ポンプが壊れます。

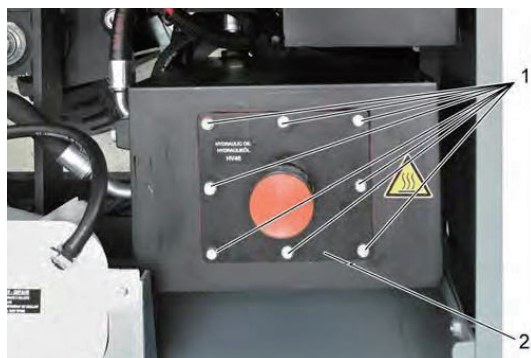
- 1 ドレンホース
- 2 プラグ
- 3 オイル受け（20L 以上）

環境の良い（粉塵飛散が無い）場所で作業を行ってください。屋外作業はおやめください。

エンジン停止後作業を行ってください。

ドレンホースを車体下部へ引き出してください。

プラグを外し作動油を抜いてください。



- 1 スクリュー
- 2 カバー

作動油タンクの清掃を行います。

スクリューを取外してください。

カバーを取外してください。

組付け時は液体パッキンが必要です。



- 1 フィルター 6.987-619.0

フィルターを回し取外してください。

タンク内部を清掃してください。

新しいフィルターを取付けてください。

ゴミ・粉塵・糸くず等が入り込まないように注意してください。

## ユーザー登録・保証

ユーザー登録をお願い致します。

ケルヒャー ジャパン株式会社では十分なアフターサービスを提供するために当社業務用製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。



＜ユーザー登録をいただいたお客さま限定＞

ご購入日から1年間の保証期間を  
ご購入から2年間に延長いたします。

そのほか、お得なキャンペーンや新製品のご案内をお送りします。

＜注意＞

製造時に起因した不具合にのみ2年間の保証が適応されます。  
使用に伴う劣化・損傷・故障は期間内であっても有償修理となります。

＜ユーザー登録方法＞

ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトからご登録ください。

サービス - 業務用製品ユーザー登録

- ご購入から30日以内にご登録ください。
- ご登録には製品名とシリアルナンバー（製造番号）が必要です。  
2台以上ご購入いただいた場合も1台ずつご登録ください。
- S/N : x x x x x x の数字がシリアル番号です。

＜保証＞

保証規定については、保証書をご確認ください。

＜お問い合わせ先＞

ケルヒャー ジャパン株式会社 サービスフロント  
TEL : 0570-78-3140

登録情報について

お客様にご登録いただいた個人情報は第三者に提供することはありません。  
尚、ユーザー登録情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために  
利用させていただく場合がございますのでご了承ください。  
当社の個人情報保護の取り組みについてはケルヒャー ジャパン株式会社のホームページ  
でご覧いただけます。



# 保証書

## 保証規定

お買い上げいただいたケルヒャー製品に万が一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い無償修理いたします。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
本書の再発行は行ないません、紛失しないよう切り取り大切に保管してください。

## 保証の内容

お買い上げいただいた製品を構成する純正部品に材料または製造上の不具合が起きた場合、これを無償修理いたします（この無償修理を保証修理といいます）。

保証修理は部品の交換あるいは補修により行ないます。また取り外した不具合部品は弊社所有といたします。

## 保証期間

保証期間は製品を新品でご購入いただいた日から1年です。

但しご購入から1ヶ月以内にケルヒャーユーザー登録をいただいた場合に限り、保証延長が適用され保証期間はご購入いただいた日から2年となります。

ケルヒャーユーザー登録方法は弊社ウェブサイトをご覧ください。

※温水高圧洗浄機のステンレス製ヒートコイルのみご購入日から3年間の保証となります。

## 保証できない事項

お買い上げ頂いた機種に該当しない事項も記載されています。

### ■次に示すものに起因すると判定される故障は保証修理いたしません。

- ・取扱説明書に反する使用
- ・保守整備の不備または使用方法の間違い（日常点検をしていない場合）
- ・弊社が提示している仕様の限界を超える使用（例：電力異常による損傷、燃料異常による損傷、凍結させた場合の損傷、ホースの亀裂など）
- ・弊社が認めていない改造
- ・純正部品および指定する油脂類以外の使用
- ・ご使用者の不注意によるケガおよび故障

### ■次に示すものは保証修理いたしません。

- ・消耗品（油脂、ノズル、リング、パッキン、バルブ、ホース、ベルト、ギア、ブラシ、パッド、ストリップ、バッテリー、タイヤおよびこれらに類する消耗品）
- ・経年変化により発生した不具合（錆び、塗装、プラスチックの自然退色、ホースのひび割れ、安全バルブ、電装部品など）
- ・使用に際し品質、機能上影響のない感覚的現象（音、振動、微量な水もれ、オイルのにじみなど）
- ・台風、水害、雪害などの天災による不具合、故障
- ・薬品、塩害などに起因する不具合、故障
- ・水質などに起因する詰まり、劣化、消耗、傷

### ■次に示すものの費用は負担いたしません。

- ・清掃、点検、調整、定期点検整備、保証修理以外で使用した部品、輸送費、宿泊費、出張費など
- ・この保証書に示す条件以外の費用補修など
- ・本機を使用できなかったことによる不便さおよび損失など（休業損失、商業損失など）
- ・洗浄対象物に損傷、破壊、変色などが生じた場合の補修費用
- ・正しく操作をせずに負ったケガの治療費用

## 保証の適用

この保証書と、販売店からの納品書または領収書をご提示ください。

ご提示いただけない場合、保証は適用出来ません。

この保証は、日本国内で使用される弊社製品のみ適用されます。

海外へ持ち出す場合、また海外で使用したことによる不具合・故障は保証の適用といたしません。

## 保証修理の受け方

保証修理を希望される場合は、サービスフロントへご連絡ください。

保証適用可否の判断は、ケルヒャー エンジニアによる検査後にご連絡いたします。

定額修理該当機種の保証修理は弊社修理センターへご送付ください。（拠点では行っておりません）

定額修理該当機種の保証修理に伴う出張サービスは行っておりません。

## ケルヒャー ジャパン株式会社

本社：〒222-0032 神奈川県横浜市港北区大豆戸町 639 番 3

ウェブサイト：<https://www.kaercher.com/jp/>

サービスフロント TEL:0570-78-3140

FAX:045-438-1320

## 保証書 お客様情報

機種名	KM 120 / 250 RD Classic
シリアル番号 (製造番号)	
会社名	
部署名	
ご担当者名	
日中通じる 電話番号	
F A X 番号	
メールアドレス	
郵便番号	
ご住所	都・道・府・県
	郡・市
	町・村
	丁目                      番地                      号

切り取り線

切り取り線



---

---